

承認フローの設定方法

-派遣先-

※当設定はユーザマスタで設定された実行権限によってご利用頂けるユーザが限定されます。
操作可能な実行権限は、マスタメンテナンスマニュアル_派遣先用の実行権限一覧をご参照ください。



Ver.1.0.2

Last up date:22/10/21

1.承認フローについて

□承認フロー設定とは

派遣照会や契約確認などの処理を1人のユーザで完了するのではなく、複数の方に確認・承認していただくためのフローの設定です。

□契約確認の承認フローの例

- A** 派遣会社からの契約依頼は、まず「契約確認者」に届きます。
- B** 契約確認者のみの処理で契約確定とせず、次に契約内容を確認するユーザや承認者グループへ承認依頼をすることが可能です。
- C** また、承認依頼を受けたユーザも、更に別のユーザや承認者グループへ承認依頼をすることが可能です。
- D** 最終承認者が派遣会社へ提出することで、契約確定となります。



上記は、契約確認の承認フローの例ですが、見積依頼や派遣照会も同様に承認フローを設定できます。

その場合「ユーザ①」は「起票者」となります。

マスタの設定次第で、運用に合わせた様々な承認フローを設定できます。

次のページより、代表的な設定パターンと設定方法を紹介します。

2. 承認フローの設定方法

□承認フロー設定方法

ポータルサイトの「企業設定・準備ほか」の「各種マスタを登録・編集する」をクリックし、「ユーザマスタ」の「編集登録」をクリックすると、「検索条件設定：ユーザマスタ」画面へ遷移します。承認フローを設定したいユーザを検索し、「選択」ボタンをクリックすると、「ユーザマスタ編集」画面へ遷移します。下へスクロールすると、承認フロー設定が表示されます。



検索条件設定：ユーザマスタ

検索条件を指定してください。

ユーザ検索
 ユーザID | kanda01
 ユーザ名 | 姓 | 名
 有効のみ

戻る

検索

検索結果

ユーザID	ユーザ名	事業所	部署	承認者グループ	有効フラグ	ロック	選択
kanda01	神田 一郎	東京事業所	営業部	派遣統括窓口	有効	ロック	選択

検索条件を入力した後に「検索」をクリックし、設定したい対象のユーザを選択する。

承認フロー設定

下記の情報は、入力初期値として任意に設定しておくことができます。

■次承認者初期値		承認者グループから	ここで選択された次承認タイプで、次承認者を検索します。
次承認タイプ	検索	神田 一郎	
承認可否フラグ		可	
最終承認可否フラグ		可	
派遣会社選択可否		可	

初期値設定

下記の情報は、入力初期値として任意に設定しておくことができます。使用しない場合は、空白にしてください。

■タイムカード承認者初期値		指揮命令者が設定されます。
タイムカード承認者No1	検索	2222 神田 二郎
タイムカード承認者No2 (半角100文字以内)	検索	
タイムカード承認者No3 (半角100文字以内)	検索	

■コストセンター関連初期値	
コストセンター	コード (半角20文字以内)
	コメント (半角250文字以内)

戻る アカウントロック解除 パスワード初期化 **確認画面へ**

希望される通りに承認フローを設定してください。

「確認画面へ」をクリック
内容確認画面で「登録」ボタン
をクリックして登録完了です。

この内容で登録します。
以上の内容でよろしければ登録をクリックしてください。
内容を再編集する場合は戻るを、内容を放棄する場合は中止をクリックしてください。

中止 戻る **登録**

□各項目について

- 次承認タイプ : 「承認者グループから」「最終承認者」「ユーザ」のいずれかを選択
- 次承認 : 次承認タイプの選択により該当するものを選択
「承認者グループから」を選択 → 該当する承認者グループ
「最終承認者」を選択 → 「派遣会社へ提出」
「ユーザ」を選択 → 次の承認先に該当するユーザ
- 承認可否フラグ : 派遣照会や契約確認などの「承認先設定」画面で、当該ユーザを次承認者の選択肢として表示させるかを選択
「可」 (= 表示する) もしくは「否」 (= 表示しない)
- 最終承認可否フラグ : 当該ユーザに最終承認 (派遣会社へ提出) を行う権限の付与の選択
「可」 (= 付与する) もしくは「否」 (= 付与しない)
※ 「次承認タイプ」が「最終承認者」の場合は、「最終承認可否フラグ」を「可」にする必要があります。
- 派遣会社選択可否 : 当該ユーザが「見積依頼」「派遣照会」の起票時および承認時に、提出先となる派遣会社を選択することが可能かを設定
「可」 (= 選択可能) 「否」 (= 選択不可)

□承認者グループ設定方法

承認フロー中に承認者グループを利用することにより、承認者であるユーザが異動した際の、マスタデータメンテナンス負荷軽減化を行うことができます。

※詳しくは、「3. 承認フローの設定パターンについて □承認フローの設定パターンについてくパターン①>」を参照ください。

ポータルサイトの「企業設定・準備ほか」の「各種マスタを登録・編集する」をクリックし、「承認者グループのマスタ」の「新規登録」をクリックすると、「承認者グループマスタ登録」画面へ遷移します。

承認者グループID、承認者グループ名称を入力し、承認者グループに登録したいユーザを検索して登録を行います。



承認者グループマスタ登録

入力項目を登録してください。

注:項目名に※がついているもの、背景が色付きの項目は入力必須項目です。

■登録フォーム		Reset
※承認者グループID (半角10文字以内)	<input type="text" value="hakenkanrig"/>	→ 「承認グループID」と 「承認者グループ名称」を 入力する。
※承認者グループ名称(日本語) (半角10文字以内)	<input type="text" value="派遣管理グループ"/>	
承認者グループ名称(英語) (半角24文字以内)	<input type="text"/>	

承認者グループ所属ユーザ登録

承認者グループ所属ユーザを登録してください。

所属ユーザ項目を追加する場合は、所属ユーザ追加をクリックしてください。

注:所属ユーザは、1人以上登録してください。

■承認者グループ所属ユーザ登録		
※所属ユーザ1 (半角100文字以内)	<input type="text" value="kandauser"/>	神保 太郎
所属ユーザ2 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ3 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ4 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ5 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ6 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ7 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ8 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ9 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	
所属ユーザ10 (半角100文字以内)	<input type="text"/>	

所属ユーザ追加

戻る

確認画面へ

→ 「検索」ボタンをクリックし、
設定したい対象のユーザを
選択する。

→ 「確認画面へ」をクリック
内容確認画面で「登録」ボタン
をクリックして登録完了です。

この内容で登録します。
以上の内容でよろしければ登録をクリックしてください。
内容を再編集する場合は戻るを、内容を破棄する場合は中止をクリックしてください。

中止

戻る

登録

3. 承認フローの設定パターンについて

□承認フローの設定パターンについて

代表的な設定パターンの例を紹介します。

様々な設定が可能ですので、運用に合わせてご設定ください。

※掲載している以下の図は、ユーザマスタの「承認フロー設定」の設定方法を説明しています。

(例)

<ユーザマスタの承認フロー設定>

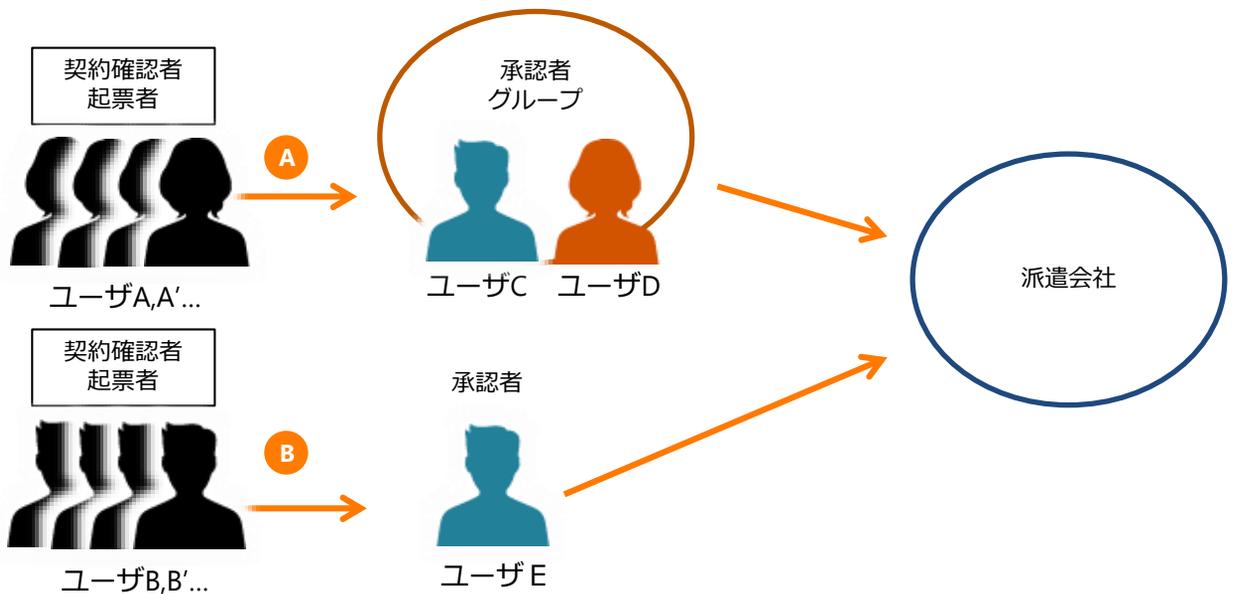
ユーザA (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	可
最終承認可否フラグ	否
派遣会社選択可否	可

承認フロー設定

下記の情報は、入力初期値として任意に設定しておくことができます。

■次承認者初期値	
*次承認タイプ	承認者グループから <small>ここで選択された次承認タイプで、次承認者を検索します。</small>
*次承認	検索 人事部
*承認可否フラグ	可
*最終承認可否フラグ	可
*派遣会社選択可否	可

<パターン①> 管理部門集中管理
人事や購買等に承認を一括しているケース



※ユーザA,A'... : 承認者の異動が発生した際は、承認者グループの登録メンバーを変更するのみで、ユーザA,A'...のユーザマスタは変更不要となります。(上図 A)

ユーザB,B'... : 承認者の異動が発生した際は、承認者情報を再登録する必要があるため、ユーザB,B'...のユーザマスタの変更が必要となります。(上図 B)

ユーザA,A'... (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	可or否
派遣会社選択可否	否

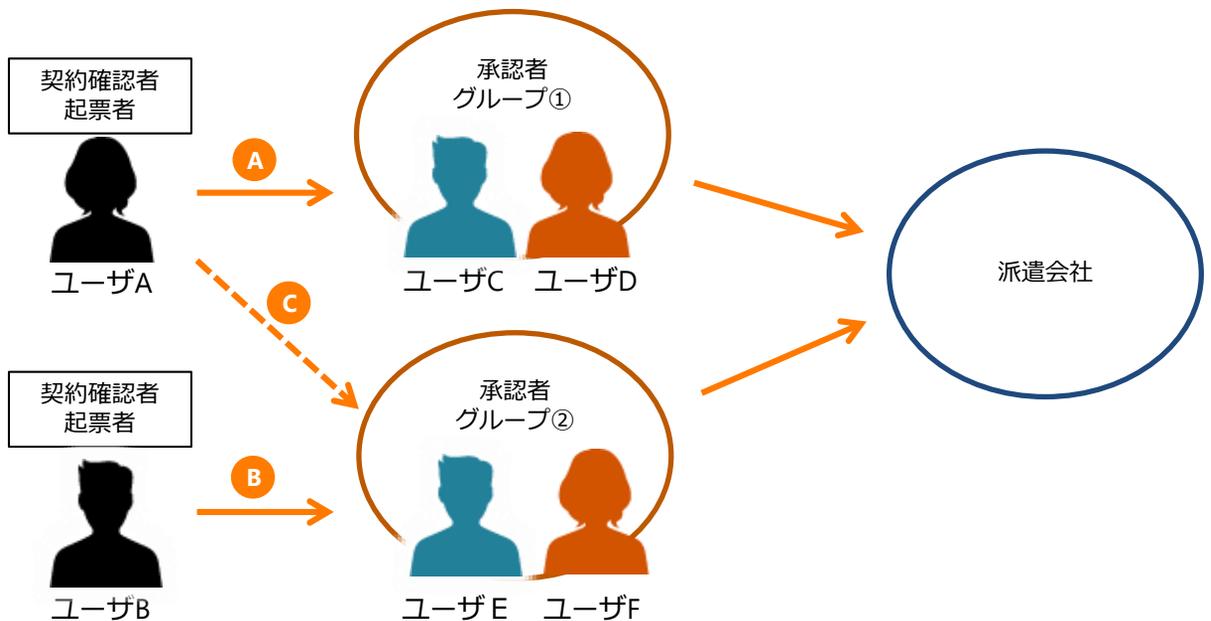
ユーザC・D (承認者グループ所属ユーザ)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

ユーザB,B'... (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	ユーザ
次承認	該当するユーザ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	可or否
派遣会社選択可否	否

ユーザE	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

<パターン②> 複数階層管理

事業所ごとやエリア総務ごと等、承認先を分けているケース



通常、ユーザAは承認者グループ①へ、ユーザBは承認者グループ②へ承認依頼するようユーザマスタで設定しますが（上図 **A** と **B**）、派遣照会や契約確認時のイレギュラーが発生した際に、第2選択肢となる自部署「部署マスタ」の次承認へ承認依頼を行うことができます。（上図 **C**）

ユーザA・B (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	否
派遣会社選択可否	否

ユーザC～F (承認者グループ所属ユーザ)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

※ユーザA・Bが第2選択肢となる別グループに承認を依頼するケースの場合

自部署「部署マスタ」の承認フロー設定

次承認タイプ：承認者グループから

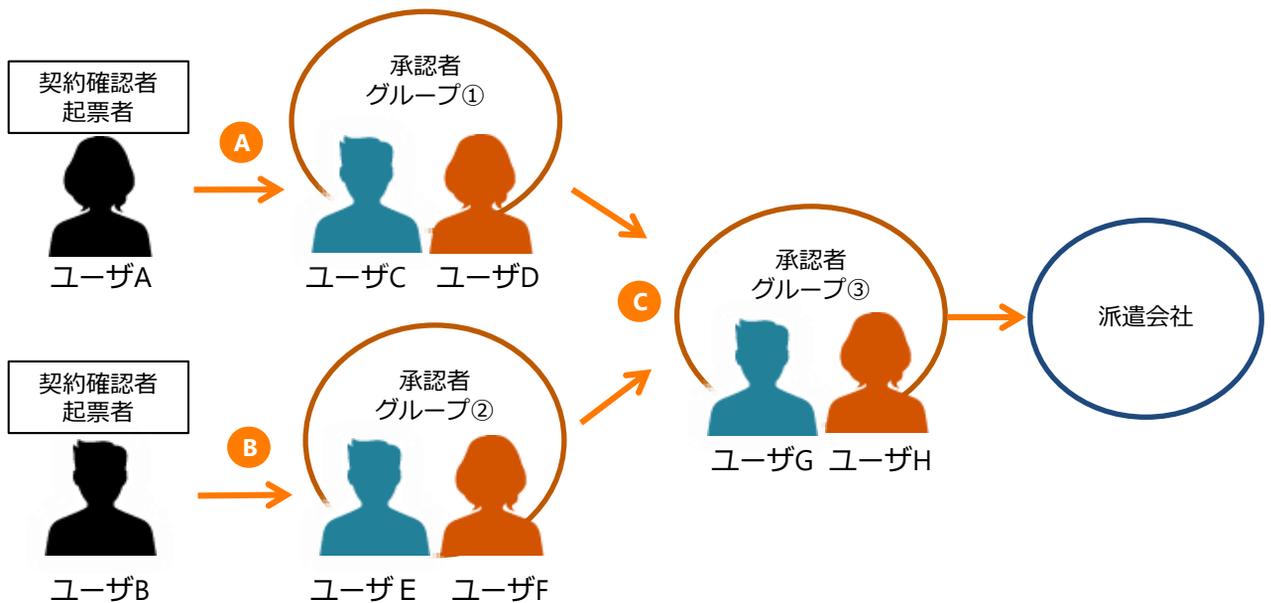
次承認：第2選択肢となる承認者グループ

※承認者グループは初期設定で最大2つ(ユーザマスタで設定した承認者グループ、

部署マスタで設定した承認者グループ)まで登録できますが、第3選択肢に振り分けたい場合は、契約確認時にユーザを指定する必要があります。

<パターン③> 複数階層管理

所属長の承認後、人事、購買、エリア総務などに承認を集約するケース
(何段階でも階層を組むことは可能)



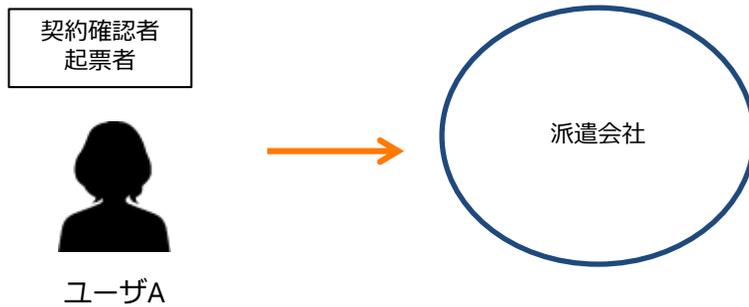
ユーザA・ユーザBはそれぞれの所属長の承認者グループへ承認依頼し（上図 **A** と **B** ）、承認者グループ①と承認者グループ②は、派遣統括部書である承認者グループ③へ承認依頼を行う（上図 **C** ）など、階層を経て派遣会社へ提出します。

ユーザA・B (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	否
派遣会社選択可否	否

ユーザC~F (承認者グループ①②所属ユーザ)	
次承認タイプ	承認者グループから
次承認	該当する承認者グループ
承認可否フラグ	否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

ユーザG・H (承認者グループ③所属ユーザ)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可

<パターン④>ご自身で完結
現場裁量において承認を経ず、派遣照会・契約確認などを行うケース



契約確認者・起票者が直接、派遣会社へ提出し、対応完結とします。

ユーザA (契約確認者・起票者)	
次承認タイプ	最終承認者
次承認	派遣会社へ提出
承認可否フラグ	可or否
最終承認可否フラグ	可
派遣会社選択可否	可